

議会の動きをみなさまにお伝えします

加西市議会だより

NO.164



届け♪メッセージ♪
善防中吹奏楽部と県警音楽隊のオンライン演奏会

議会の新型コロナウイルス感染症対策支援 (P10)

- 5月臨時会 (P2～3)
- 6月定例会
 - 質疑 (P4～5)
 - 委員会審議 (P6～7)
 - 一般質問 (P11～15)



議員提出議案

議員提出議案第 1 号 新型コロナウイルス対策に資するための議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止や暮らしと経済を支えるための施策等、新型コロナウイルス対策に役立ててほしいとの全議員共通の思いから、議員報酬等を減額しようとするもの。

【概要】

- ・議員報酬の月額を令和 2 年 6 月 1 日から令和 2 年 11 月 30 日までの 6 カ月間、20%減額する。
- ・議員の令和 2 年 6 月期の期末手当を 20%減額する（報酬月額の減額に伴うもの）。

※ 採決の結果、全会一致で可決しました。

質 疑

報告第 8 号 専決処分したものにつき承認を求めることについて（令和 2 年度加西市一般会計補正予算（第 1 号））

特別定額給付金事業の実施による、令和 2 年度加西市一般会計予算の補正。

【歳入】

- ・総務費国庫補助金 44 億 3,348 万円
特別定額給付金給付事業費補助金等の増

【歳出】

- ・特別定額給付金給付事業費 44 億 3,348 万円
特別定額給付金の給付に伴うもの

問 なぜ支給に時間がかかるのか。どの過程に時間がかかるのか。

答 4 月 27 日を基準日として世帯の構成員を印字した申請書を市内全世帯に配付し、オンラインと郵送による申請をデータ管理して順次支給するため、住民基本台帳システムの改修を行っています。システム会社には自治体の改修業務が一時的に集中し、また万一に備えての試行に時間を費やしています。封筒の印刷も、全国的に品薄や業務集中により納品に時間を要しています。

議案第 38 号 加西市みんなで支えあう新型コロナウイルス感染症対策基金条例の制定について

新型コロナウイルス感染症の急速な蔓延を防止し、市民生活及び地域経済の安定を市民全員で支え合うため、感染症予防、生活支援及び地域経済対策等の財源に充てる基金を設置しようとするもの。

問 基金の財源の確保について。

答 みんなで支え合うという基金の名称どおり、市民を初め広く寄附を募って財源を確保したいと考えています。マスク等の提供を呼びかけたところ、市内外から多く寄せられたため、何らかの支援をしたいという

思いを受け入れる受け皿が必要であると感じました。特別定額給付金についても、受け取っていいのかという思いを持った方も聞いており、その思いの受け皿として活用できないかという意味でも期待しています。

議案第 41 号 加西市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

市立加西病院の診療科目に救急科を新設し、病床数を 266 床から 199 床に変更しようとするもの。

問 これまで条例の病床数は変更せず運用で対応していたが、今回、条例改正で病床数を変更する意味は。

答 国は、許可病床数 200 床未満の病院の診療報酬を手厚くするなどの施策をとっています。令和元年度と同程度の外来診療なら年間収入 6,000 万円プラス、加えて稼働病床の集約により約 2.4 億円の収支改善を見込み、病床数減少を累積債務解消の一助としたいと考えます。許可病床数の変更は条例改正の必要があります。

議案第 42 号 令和 2 年度加西市一般会計補正予算（第 2 号）について

【歳入】

- ・財政調整基金繰入金 1 億 3,506 万 3,000 円
新型コロナウイルス感染症対策への充当額の増

【歳出】

- ・児童措置費 1,700 万円
児童扶養手当受給者に対する緊急支援給付金の増
- ・商工振興費 1 億 3,533 万 8,000 円
加西市小規模事業経営持続支援金、融資保証料負担金等の増
- ・学校振興費 4,286 万 2,000 円
臨時休校による学習支援のための教育情報推進事業等の増

問 児童扶養手当の緊急支援給付金について。

答 主にひとり親世帯に支給している児童扶養手当受給者に対し、児童1人につき5万円を市の独自施策として支給するものです。生活に余裕がない世帯も多く、より手厚い支給が必要であると考えています。

問 教育情報推進事業の内容について。

答 国の補正予算で、学校休業時の子供の学びを保証するため、GIGA スクール構想の加速を目指すことが打ち出されました。児童生徒1人1台端末の整備支援が前倒しとなったことから、加西市でも学習用パソコンの整備を前倒しで実施し、全学年で1人1台体制を構築します。また、緊急時でもICT活用により全ての子供の学びを保証できる環境整備のため、モバイルルーターの購入など通信環境が整っていない家庭へ支援を行います。

討 論

議案第41号 加西市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

可決（賛成13、反対1）

賛成

- ・地域の特性や患者数に応じた体制、また充実した中身に変えていかなければならない。建てかえに向けて負債をなくすよう企業努力が必要になる。市民、市、神戸大学の医師派遣の3者の中で加西市の方向性を決定しなければならない重要な時期で、病院を充実したものにするためにも条例改正は必要であり、賛成する。

反対

- ・病院は安全を守るために必要な機関であり、効率だけで論じるとは危険が生まれると強く感じる。200床を割る加西病院がだめではなく、今一歩立ちどまり、余裕床を持った病院のあり方や公立病院のあり方について検討する必要があると考え反対する。

第282回 令和2年5月臨時会 議決結果一覧

令和2年5月11日

■賛否の分かれた議案

○…賛成 ×…反対

議 案	北川克則	高見博道	下江一将	佐伯欣子	深田照明	原田久夫	井上芳弘	中右憲利	黒田秀一	丸岡弘満	深田真史	森元清蔵	衣笠利則	森田博美	土本昌幸	議決結果
議案第41号 加西市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	原案可決 (賛13、反1)

■全会一致で承認、同意、可決した議案

- 報告第5号 専決処分したものに付き承認を求めることについて（加西市消防団員等公務災害補償条例の一部改正）
- 報告第6号 専決処分したものに付き承認を求めることについて（加西市税条例等の一部改正）
- 報告第7号 専決処分したものに付き承認を求めることについて（加西市税条例の一部改正）
- 報告第8号 専決処分したものに付き承認を求めることについて（令和2年度加西市一般会計補正予算（第1号））
- 議案第36号 加西市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて
- 議案第37号 特別職に属する常勤の職員の給与の特例に関する条例の制定について
- 議案第38号 加西市みんなで支え合う新型コロナウイルス感染症対策基金条例の制定について
- 議案第39号 加西市国民健康保険条例及び加西市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第40号 加西市災害等による小学校等の臨時休業に伴う給付金に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第42号 令和2年度加西市一般会計補正予算（第2号）について
- 議案第43号 令和2年度加西市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について
- 議案第44号 令和2年度加西市一般会計補正予算（第3号）について
- 議案第45号 令和2年度加西市水道事業会計補正予算（第1号）について
- 議員提出議案第1号 新型コロナウイルス対策に資するための議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について

第 283 回 令和 2 年 6 月定例会 5 月 29 日～6 月 22 日

6 月定例会 質 疑

6 月定例会で提案された議案に対し、延べ 12 名の議員が質疑を行い、内容や目的など説明を求めました。主なものを紹介します。

議案第 49 号 特別職に属する常勤の職員の期末手当の特例に関する条例の制定について

【概要】

- ・市長、副市長及び教育長に対する令和 2 年 6 月期の期末手当を不支給とする。

役 職	本来支給額	給料月額 20%減額 による影響額	本条例(案)に による影響額
市 長	231 万 1,000 円	△ 46 万 2,000 円	△ 184 万 9,000 円
副市長	184 万 7,000 円	△ 36 万 9,000 円	△ 147 万 8,000 円
教育長	165 万 6,000 円	△ 33 万 1,000 円	△ 132 万 5,000 円

問 臨時議会で給料 6 カ月及び 6 月期末手当の 20% を減額したが、改めて 6 月期末手当を全額支給しない理由は。

答 給料の 20% 減額は、執行者と議会が一体となって取り組む姿勢として、議員報酬と同じ減額割合としました。新型コロナウイルス感染症が、市民生活や地域経済に与えたダメージは非常に大きく、さらなる施策が必要と感じ、市民の痛みを共有する思いと、できる限りの支援策を講じていく財源とするためとの思いから、6 月の期末手当全額カットを提案するものです。

議案第 50 号 加西市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

令和 4 年春完成予定の加西市地域活性化拠点施設において、施設完成前に指定管理候補者を選定し、設計又は施工の段階からその意見を反映させるため、指定管理者の指定手続等における準備行為を定めようとするもの。

問 施設の完成前に指定管理候補者を選定するのはなぜか。

答 これまでは既存施設の指定管理でしたが、建設を計画する場合に、設計及び施工の段階で意見を反映させることで、完成後の手直しがなくなり、より効率的な事業運営につながると考えます。地域活性化拠点施設の指定管理候補者は、今年の秋にプロポーザル方式で広く公募を行う予定です。施工に大きな変更が伴うということではなく、できるだけ指定管理候補者の使い勝手が整うようにアレンジする予定です。

議案第 55 号 加西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について

東高室地区地区整備計画区域内に建築することができる建築物の用途にフィットネスクラブ等の運動施設を追加しようとするもの。

問 東高室地区の地区計画における商業地区の現在のスケジュールは。

答 商業施設の整備事業は民間開発事業者が行います。まだ未確定ですが、スーパー、ドラッグストア、ファミリーレストラン、ホームセンター、フィットネスクラブなど 8 店舗のオープンモール形式のショッピングセンターを計画中です。



議案第 58 号 加西市立図書館等空調設備改修工事請負契約の締結について

令和 2 年 5 月 11 日に制限付一般競争入札に付した加西市立図書館等空調設備改修工事について、請負契約を締結しようとするもの。

【概要】

- ・請負業者 テラマエ設備工業株式会社
- ・請負金額 1 億 5,290 万円
- ・工 期 着手 議会の議決のあった日
完成 令和 3 年 1 月 29 日
- ・工事内容 既設空調機器類の更新：1 式（計 156 台）

問 工事内容とスケジュールについて。

答 アスティアかさいは竣工から 17 年が経過し、設備機器の更新時期を迎え、図書館、交流センター、ハローワークの空調設備の改修工事を行います。10 月から 12 月までの間に施設利用を一部制限します。図書館は 10 月に 4 階部分、11 月に 3 階部分を各階 1 カ月をめぐりに閉館して工事を行います。



議案第 60 号 令和 2 年度加西市一般会計補正予算（第 4 号）について

【歳入】

- ・基金費寄附金 2,000 万円
ふるさと納税の受入増加に伴うもの
- ・教育債 370 万円
中学校エアコン設置工事にかかる学校教育施設等整備事業債の増

【歳出】

- ・一般管理費 1,300 万円（職員給与等を除く）
定住自立圏域マスク配布事業費の増
- ・学校管理費 500 万円
中学校エアコン設置にかかる工事請負費の増

問 ふるさと応援基金寄附金 2,000 万円について。

答 加西市、加東市、西脇市、多可町で形成する北播磨広域定住自立圏の緊急的な新型コロナウイルス対策として、圏域の子供や妊婦、高齢者の方へのマスク無料配布、また、子育てに優しいまちづくりの推進、コロナ支援による地域産業の振興を計画しています。財源は、ふるさと納税のクラウドファンディングを活用し、事業費 2,000 万円を目標金額として寄附を募っています。

問 中学校管理費 500 万円について。

答 児童・生徒数が 21 名以上のクラスについては、3 密を避けるために、空き教室、特別教室等を活用する分散授業の準備を進めています。北条中学校では教室が不足するために、3 階の多目的スペースに空調機器を設置する予定です。

議案第 61 号 令和 2 年度加西市一般会計補正予算（第 5 号）について

【歳入】

- ・地方創生臨時交付金 1 億 6,379 万 8,000 円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増
- ・商工費県補助金 1,666 万円
商店街お買い物券・ポイントシール事業補助金の増

【歳出】

- ・災害対策費 2,415 万円
病院支援のための備品購入費等の増
- ・商工振興費 1 億 6,258 万 4,000 円
地域活性化キャッシュレス事業委託料、融資保証料負担金等の増

問 新型コロナウイルス感染症対策地域活性化キャッシュレス事業について。

答 キャッシュレス決済時に付与されるポイント還元分を市が負担することで、市内での消費を喚起し、経済活性化を図ります。地方創生臨時交付金の予算 1 億円で 20% のポイント還元事業を行うことにより、5 億円を超える消費による経済効果を見込みます。還元事業対象店舗は、市内の店舗に限定し、中小事業者を支援します。キャッシュレス決済事業者は、PayPay を予定しています。



問 商店街お買い物券・ポイントシール事業補助金について。

答 新型コロナウイルス感染症による市内商業のダメージを回復するため、地元商店等が主体となって取り組む期間限定のプレミアム付きお買い物券等を支援するものです。実施主体である加西商工会議所や加西市商店連合会と連携して進めます。お買い物券、ポイントシールのいずれもプレミアム分 20% で、実施時期は 12 月と来年 1 月の 2 カ月の予定です。

問 病院支援のための備品購入費 1,150 万円について。

答 新型コロナウイルス感染症に備えて、人工呼吸器やセントラルモニター、血液ガス分析装置などを購入する予定です。

議案第 62 号 教育長の任命につき同意を求めることについて

教育長の兼松儀郎氏から、令和 2 年 6 月 30 日をもって辞職したい旨の申し出があったため、令和 2 年 7 月 1 日から新たに民輪恵氏を教育長に任命しようとするもの。

問 教育行政に識見を有するというのが法律では規定されているが、どうか。

答 元教育者でなくても、教育行政の経験がなくても、識見豊富な方はたくさんおられます。いろいろな機会に意見交換し、その一人であるという判断をしました。素晴らしい議論ができる、トップリーダーとしてふさわしい人として提案します。

問 学校施設の再編を検討されようとしている状況を十分認識されているのか。

答 小中学校のあり方について検討していくということは、何回も議論をしています。

常任委員会審議

総務

建設経済厚生

予算決算

上程された議案は、それぞれ所管の総務常任委員会、建設経済厚生常任委員会及び予算決算常任委員会に付託し、審議を行いました。

特殊勤務手当

議案第 48 号 加西市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例の制定について

問 防疫等作業の内容について。

答 保健師等が従事する業務のうち、集団感染が発生した場合の疫学調査等の作業、療養のための宿泊施設の確保や連絡調整、病院から施設への移送、その他社会福祉施設等において大規模な集団感染等が生じた際の消毒作業等を想定しています。

指定管理

議案第 50 号 加西市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 地域活性化拠点施設だけが指定管理となっているが、飛行場跡地や防空壕等の戦争遺跡の管理についてはどうするのか。

答 指定管理による運営は、主に拠点施設とその周辺スペースを考えています。飛行場跡地等については、総合的に管理していただく手法を取ればとの思いはありますが、業務委託を考えています。

問 施設の設置管理条例がない段階での公募について。

答 施設の開館予定が1年半以上先で、不確定要素が多い状況で設置管理条例を上程すべきでないと判断し、手続条例の改正を提案しました。また、施設の効率的運営の観点から、設計や施工から運営までを一貫して行うことで、時間や費用の無駄を省き、指定管理候補者のノウハウを生かすことができます。

地区計画

議案第 55 号 加西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 面積は限られているが、店舗や駐車場、道路、緑地、調整池の規模は。

答 ホームセンターが4,000平米、スーパーが300平米、フィットネスクラブが600平米など8店舗のオー

ブンモールができ、にぎやかな地区になるイメージです。駐車場は店舗に見合う配置になると思われ、調整池の規模も大きいです。

問 東高室地区のまちづくりの特徴は。

答 自治会が中心となり、市、開発事業者が協力し、まちづくりを行っています。今回、フィットネスクラブが入ることで、丸山総合公園が近くにあることから、健康交流ゾーンになることを期待しています。

土地改良

議案第 57 号 土地改良事業の計画の概要について

問 高齢化が進んでいるが、農業の省力化・効率化の取り組みは考えているか。

答 東高室地区における土地改良事業では、用水はパイプライン化し、今後はスマートフォンを使用したバルブの開閉など、少しでも省力化につながるよう整備していきたいと考えています。また、これまでの圃場整備と違い、区画を大きくし、作業効率をよくなり、収益を上げようとしています。

問 受益者の負担金は。

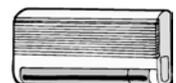
答 全体の事業費のうち12.5%で、5,800万円になります。それを15年で償還する場合、1反当たり2万3,000円余りとなります。

図書館

議案第 58 号 加西市立図書館等空調設備改修工事請負契約の締結について

問 低入札で落札となった理由は。また、公契約条例の対象となる賃金等の支払いは。

答 請負業者がエアコン機器を安く仕入れることができるため、材料費の削減が大きかったことが低入札で落札となった理由です。また、工事内訳書では、労務費が市の設計額よりも多く見積もっており、適正な価格で支払われると考えます。



補正予算

議案第 61 号 令和 2 年度加西市一般会計補正予算（第 5 号）について

問 新型コロナウイルス感染症対策キャッシュレス事業の目的、決済事業者の選定について。

答 国のキャッシュレス決済 5%還元事業が 6 月で終了するため、継続した景気対策として独自にこの事業を実施したいと考えています。キャッシュレス決済事業者を PayPay とする理由は、市内で導入している店舗が多く、新規に導入する場合でも店側の負担が少ないためです。

問 新しく開設される地域活動支援センターの支援内容は。

答 地域活動支援センターは、身体障がい、知的障がい、精神障がいがある方が通所され、居場所づくり、生きがいづくりのほか日常生活相談、地域交流などの活動を行います。しかし、これらの障がいの分類に当てはまらない、引きこもりやなかなか社会に出ていけない方もふえているため、社会適応訓練や指導なども含めて支援していくとのことです。



修正案

修正案とは、議案の一部分が容認できない場合に、議案全体に対して反対するのではなく、委員会や議員によって修正案を提出することができます。議員による修正案の提出には、2 名以上の発議者（提出者）が必要となります。

議案第 60 号 修正案 令和 2 年度加西市一般会計補正予算（第 4 号）に対する修正動議

・ふるさと納税推進事業の定住自立圏域マスク配布事業費について、加西市が 3 市 1 町の先頭に立って、マスクを配布する必要性が認められないため削除する。必要なら各市町で対応すべきものとする。

討論

討論とは、表決の前に賛成か反対かの自己の意見を表明することです。6 月定例会では、延べ 13 名の議員が討論を行いました。主なものを紹介します。

議案第 50 号 加西市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

可決（賛成 10、反対 4）

賛成

- ・よりよい施設にするには、早い時期に指定管理候補者を選定して進めるほうが、地元や加西市のためになる。
- ・今後建設する施設は、指定管理者による運営を前提とすることが多くなると思うので、初めから指定管理候補者を選定し、設計、施工段階から協議に加わってもらうことが必要になってくる。そのための形をきちんと条例化することは、今後のためにも大変重要である。
- ・拠点施設は複合施設であり、さまざまな業種が入ることから、指定管理候補者から施設運営、管理に対して意見を聞き、行政として事前に検討し、二重の投資を避けて、細部にわたって準備を進めていくべきである。
- ・指定管理候補者の準備行為を認めてその意見を反映させるため、事前に候補者の選定ができるよう手続条例を変えることが今回の目的である。今の段階で設置管理条例はないが、施設を管理する前に条例制定するので法的には全く問題ない。

反対

- ・鶉野飛行場周辺は、何よりも平和の史跡としてしっかり守っていくべきものである。飲食や物販といった道の駅的な活用よりも、史跡として大切にすることも、展示場や飛行場跡、防空壕等のフィールド全体を、直営で責任を持って進めていくことが一番大事であり、指定管理に向けての議案に反対する。
- ・公の施設か、単なる普通財産であるかも現時点で明確でないのに、手続条例の改正だけで指定管理候補者を選ぶことは好ましくない。微調整であれば、建物の姿、形がない 1 年 10 カ月も前から指定管理候補者の選定に入らなくても、来年の 9 月に上程予定の設置管理条例の制定を待ってからでも、十分間に合う。地元の団体との調整のためと言われるが、平成 27 年頃からさまざまな計画に地元の団体の意見が反映されてきている。

議案第 60 号 修正案 令和 2 年度加西市一般会計補正予算 (第 4 号) に対する修正動議
議案第 60 号 令和 2 年度加西市一般会計補正予算 (第 4 号) について

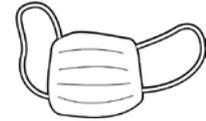
否決 (賛成 5、反対 9)
可決 (賛成 11、反対 3)

原案に賛成・修正案に反対

- クラウドファンディングについて、議会へ事前に諮っていきのは当然だが、市民はこの事業を評価し、既に目標の半分に及ぶ寄附がされているので、これをしっかりと生かしていくことは、重要である。
- 新型コロナ対策は、まだ第 2 波、第 3 波ということもあるが、本当に腰を据えて取り組んでいただきたい。
- 加西市に余裕があってマスクを配るのではない。地域貢献したいという企業の考えを受け、加西市だけでなく北播磨広域定住自立圏にも呼びかけ、官民連携に加え広域連携の中で、マスク配布をしようとしている。

原案に反対・修正案に賛成

- 加西市は、他の 2 市 1 町にまで市民の税金でマスク配布ができる財源的な余裕はない。2 市 1 町には同じようなマスクを生産、寄贈する会社は多くある中、加西市の税金や、加西市外からの税金も含めて送る必要はどこにあるのか。議案審議をする前からクラウドファンディング事業が既にスタートしていることは、議員として認められない。



議案第 62 号 教育長の任命につき同意を求めることについて

可決 (賛成 10、反対 2、退席 2)

反対

- 西村市長の 9 年間で民輪氏が 5 人目の教育長になる。教育行政のトップがころころかわりすぎである。加西市にとって真に求められる教育長とは、加西の子供たちのことを第一に考え、教育への見識が高く、誰よりも情熱があり、加西市の教育的課題を十分に認識できている人物である。お友達人事はもうやめてほしい。

賛成

- 民輪氏が、「今世界は AI に向かっているが、それを使うのが人間なのか AI に使われるのか、私は人間力が大切だと思っている。」と自分の意見をはっきり述べられた発言に期待する。5 人目と言っても、不可抗力のケガや病気でいたし方ないこともある。根底に慈しみや優しさ、思いやりがないと教育長は務まらない。

意見書案

意見書案第 1 号 新型コロナウイルス感染症対策事業に係る財政支援の充実を求める意見書

可決 (全会一致)

国内では、新型コロナウイルスの新規感染者が減少してきており、5 月 25 日には緊急事態宣言が全面解除された。しかしながら、再び感染拡大することが懸念され、依然として予断を許さない状況が続いている。

国内感染者が確認されて以降、人と人との接触を抑えるため、外出自粛などの移動制限、そして、その誘因となる経済活動の制限によって感染拡大防止策が講じられてきた。

しかし、このことが市民生活や雇用環境に多大な影響を与え、地域経済は危機的な状況となっており、多くの市民、とりわけ市内事業者からは、悲鳴に近い声が我々に寄せられている。

このような中、本市では、新型コロナウイルス感染症の急速な蔓延を防止し、市民生活及び地域経済の安定を図るため、国・県の支援策に加えて本市の独自施策として、水道料金の免除、児童扶養手当受給世帯への緊急支援給付金・小規模事業者への経営持続支援金の給付、臨時休校による学習支援のための教育情報推進事業、感染症予防のための衛生資材等の購入など諸事業を進めている。

今後、地域経済の V 字回復等に向けた支援を進める必要があるが、新型コロナウイルス感染症による市税収入の落ち込みが見込まれ、財政基盤が脆弱な本市にとって、継続した対策を実施することは極めて厳しい状況にある。

現在、国民が一丸となって、今まで経験したことのない難局に立ち向かっているだけに、自治体の財政力によって対策に差が生じることは避けなければならない。

国におかれては、地方自治体がそれぞれのニーズに応じた新型コロナウイルス感染症対策事業を継続して実施できるよう、この感染症が終息するまで、引き続き財政措置を講じていただくよう強く要望する。

記

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を継続の上、増額を図るとともに、地方自治体の実情に応じた対策が講じられる自由度の高いものとする。
- 特別交付税総額の増額を図るとともに、地方自治体がニーズに応じて独自に実施する事業を対象事業に含めて財政措置を講ずること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

令和 2 年 6 月 11 日

兵庫県加西市議会

第283回 令和2年6月定例会 議決結果一覧 令和2年5月29日～6月22日

■賛否の分かれた議案（採決順に掲載）

○…賛成 ×…反対

議案	北川克則	高見博道	下江一将	佐伯欣子	深田照明	原田久夫	井上芳弘	中右憲利	黒田秀一	丸岡弘満	深田真史	森元清蔵	衣笠利則	森田博美	土本昌幸	議決結果
議案第60号 修正案 令和2年度加西市一般会計補正予算（第4号）に対する修正動議	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	議長	修正案否決 （賛5、反9）
議案第60号 令和2年度加西市一般会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	議長	原案可決 （賛11、反3）
議案第50号 加西市公の施設に係る指定管理者の指定 手続等に関する条例の一部を改正する条 例の制定について	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	議長	原案可決 （賛10、反4）
議案第62号 教育長の任命につき同意を求めることこ ついて	○	○	○	○	○	○	退席	○	×	退席	×	○	○	○	議長	原案同意 （賛10、反2）

■全会一致で同意、可決した議案

- 議案第46号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 議案第47号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 議案第48号 加西市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第49号 特別職に属する常勤の職員の期末手当の特例に関する条例の制定について
- 議案第51号 加西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第52号 加西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第53号 加西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第54号 加西市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第55号 加西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第56号 加西市学校給食センターの設置及び運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第57号 土地改良事業の計画の概要について
- 議案第58号 加西市立図書館等空調設備改修工事請負契約の締結について
- 議案第59号 加西市立南部学校給食センター改築工事請負変更契約の締結について
- 議案第61号 令和2年度加西市一般会計補正予算（第5号）について
- 意見書案第1号 新型コロナウイルス感染症対策事業に係る財政支援の充実を求める意見書

議会の新型コロナウイルス感染症対策支援

新型コロナウイルス感染症による影響が拡大する中、市議会議員が行わなければならないことは、不安を抱く市民の皆様に寄り添いながら、今後の道筋を示していくことであると考えます。

加西市民が一丸となって、この危機を乗り越えようとしている今、感染症の拡大防止や暮らしと経済を支えるための施策等、新型コロナウイルス対策に役立てていただきたいとの全議員共通の思いから、議員協議会で協議を重ねました。

協議の結果、全議員の賛同のもと下記の3点について実施することを決定しました。

実施による削減分を『加西市みんなで支え合う新型コロナウイルス感染症対策基金』に積み立て、さまざまな施策に活用していただきます。

① 議員報酬の20%カット

令和2年6月1日から令和2年11月30日までの6カ月間、議員報酬の月額を20%減額しました。あわせて、6月の期末手当についても20%減額しました。

月額報酬	本来支給額	20%減額後
議長	45万1,000円	36万800円
副議長	38万円	30万4,000円
議員	35万円	28万円

② 政務活動費の全額カット

会派の所属議員数に年額10万円を掛けた額が政務活動費として交付され、調査研究等の活動に充てることができますが、今年度はその全額を削減しました。

③ 議員調査旅費の全額カット

常任委員会（総務、建設経済厚生）や議会運営委員会において先進地等の視察研修を実施していますが、今年度は視察研修に関する旅費を全額削減しました。

対策支援	本来支給額	削減後の支給額	削減額
①議員報酬の20%カット 6月期末手当の20%カット	3,228万6,000円 1,392万3,000円	2,582万9,000円 1,113万9,000円	645万7,000円 278万4,000円
②政務活動費のカット	150万円	0円	150万円
③議員調査旅費のカット	240万円	0円	240万円
合計	5,010万9,000円	3,696万8,000円	1,314万1,000円

◎ 削減分を『加西市みんなで支え合う新型コロナウイルス感染症対策基金』へ

6月10日、11日の本会議では、10名の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり活発な議論が展開されました。主なものを紹介します。(発言順に掲載)

加西病院の現状と今後について



中右 憲利 議員
(令和新風加西)

問 今後新型コロナウイルスの感染が心配な場合の受診等について。

答 感染が不安な場合、兵庫県や加東健康福祉事務所の専用ダイヤルにご相談ください。発熱等で受診される場合は事前に電話をいただくと助かります。

問 新型コロナウイルスの第2波等に備えて、加西病院のPCR検査等の拡充について。

答 県からの拡充要請があれば、PCR検査の拡充や抗原検査、

抗体検査等も検討したいと考えます。

問 加西病院の現状の患者数等新型コロナウイルスの影響について。

答 4月の患者数は、昨年同月比で1日当たり外来118人の減、入院患者30人の減、手術42件の減です。現在、状況は安定していますので、通院控えをさげずに受診いただければと思います。手術については、感染防止対策を講じながら通常に戻していきたいと考えます。

問 新型コロナウイルスの影響による収支悪化のため、病院建てかえ時期が遅れる可能性は。

答 病床数を199床にしたことによる診療報酬の効果は、昨年と同程度の患者数であれば当初見込みの約2倍、1.2億円の

増収となりますが、外来患者数が75%になっており、今のペースではマイナスとなります。ただ、建てかえの計画が大きく変わるとは考えていません。

問 加西病院は北播磨地区で唯一「第二種感染症指定医療機関」に指定されているが、他の病院への変更について。

答 昨秋の北播磨地域医療調整会議の場で、施設等が整った他の病院に移していただきたいと、指定の返上を県に上程し、審議していただいています。しかし、新型コロナウイルスの影響で審議が止まり、保留状態になっています。

■その他の質問項目

- ・ 加西市の教育について
- ・ その他新型コロナウイルス関連について

北条鉄道について



黒田 秀一 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 法華口駅の行き違い設備の工事完了及び行き違いの実施時期について。

答 4月末完成の予定でしたが、国からスロープの転落防止対策の指摘を受け、追加工事がかかります。完成後の増便ダイヤでの運行は9月を目指しています。

問 行き違い設備完成後、列車の増便による粟生駅での接続について。

答 増便は朝3便、夕方2便の予定です。朝は粟生発加古

川行き、新開地行きの神戸電鉄に接続、折り返しは粟生着の神戸電鉄粟生線、西脇及び加古川方面からの加古川線と接続可能です。夜の増便もおおむね同様の接続ができ、利便性は高まると考えます。

問 法華口駅に造成されたホームの土台の一部はまるで仮設で、ホームは湾曲している。既存ホームも一部削った状態だが、景観について考慮されたのか。

答 ホームの土台は北条鉄道と施工業者の認識の違いで生じましたが、手直しの協議も整い7月ごろ完了見込みです。ホームの湾曲は、列車の行き違いの際に車両との衝突を避けるための施工で、両サイドにアールを設けています。駅舎景観は当然配慮すべきですが、経費を安くする点から一般的な工法による外観とし、必要以上に経費をかけると補助対象事

業の面から認可に影響を及ぼすため、やむを得ない対応と考えます。

問 行き違い設備完成後の増便による収益見込みについて。

答 今年度利用者は昨年度比で約3,800人増、7年目まで増加傾向で最大年間4万6,000人の増、その後10年は4万人程度の増で推移する見込みです。一方、今年度収益は30万円程度のマイナス、以降一定増加傾向で7年後に750万円まで伸び、その後は次第に減少して700万円程度の収益増と推計しています。

問 副社長がボランティアであるが、責任の所在は。

答 (市長) 会社法上の取締役の責任の範囲は報酬を前提に作ってありますが、取締役全員が無報酬です。副社長が責任を負うのではなく、経営の最終責任は私が負うものと思っています。

通学道の安全整備について



衣笠 利則 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

り組んでいます。市の予算としては、道路修繕費として平成24年当時の通学路整備に特化した予算を含む道路修繕予算総額は確保しており、地元要望により通学路は優先的に整備を進めています。

問 通学道の整備費は怎么样了か。

答 通学路整備に特化した予算は、平成24年度に各小学校区に予算300万円を割り当てて行った整備、平成25年度に国庫補助を受けて行った総額約5,500万円の整備があります。現在は国の社会資本整備総合交付金を活用して3路線を整備していますが、本年度は1路線のみの予算配分という状況です。県道も国の交付金を活用して3路線の安全対策に取

問 通学道の草刈りはどうなっているか。

答 500キロメートルに及ぶ市道のうち業務委託等による草刈りは60キロメートル程度で、手入れが行き届いていない状況です。また県道も7月から9月にかけて草刈りをされていますが、通学道の安全確保に至っていないのが現状です。そのため平成29年度から各地域の皆様にご協力いただき、町内の市道や生活道路の草刈りをしていただいた際に燃料等を支給しています。今後も一層周知を図り協力をお願いしていきたいと考えます。

問 県道小野香寺線の通学道の防犯灯の整備について。

答 防犯灯はスポット的に設置し連続性を持ちません。歩道等が整備されたところに連続的に街路灯を整備する構想について、今年度から試験的にやってみようと考えており、現地を確認して検討していきたいと考えます。

問 市道北条長線の西長町内の路肩整備について。

答 西長町内の道幅が狭い箇所の改修については、本年度、工事に着手する予定です。地元の意向を再確認した上で工法等検討し、工事発注をしたいと考えます。

■その他の質問項目

・農業問題について

加西病院について



深田 真史 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 加西病院に対する神戸大学の意向は。

答 加古川中央市民病院、はりま姫路総合医療センター、北播磨総合医療センターの傘下のサテライト病院としてやっていくという意向で、それに沿って進むと考えます。

問 6月10日の生田病院事業管理者の挨拶では、経営改善について余り触れなかった。一方、「5年後に病院建てかえのゴーサインが出た」という話は飛躍しすぎて、逆に危機感を覚える。

答 減収の中で収支構造を考えることは、経営としてかなり難しく、そこはこれから勉強されると思います。建てかえの発言は、前のめりだったかもしれませんが、4月に病院トップに就任し、300人の職員を引っ張っていくための思いのあらわれであったと考えます。

問 極端に言えば、「北播磨総合医療センター加西分院」という流れか。これまでの神大と市長との協議はどうであったか。

答 (市長) 今、加西病院が神大と関係なく、医師を確保するのは不可能です。神大の思いを受け止め、方向性を出していくのが、神大病院長と私との話です。

問 3月の一般質問で、市長は、市民の思いと神大の医師派遣の考えは、大きくかけ離れていると答弁された。結局、神大の意向に従うということか。

答 (市長) やはり神大の力を必要としながら、近隣の高度急性期病院等と連携し、コンパクトな病院でも皆さんの医療ニーズに応えられる病院でないと、市民に全く受け入れられないと思っています。また、136床という数字が出て、私の力では無理だと思いました。136床になれば、診療科も大幅に縮小しないといけません。そのため、市民委員会を立ち上げ、市民と相談する時間を持ち、決めるということです。

問 市民委員会の思いが大きくなって、神大の意向と異なることになれば、收拾がつかなくなるのではないかと。

答 (市長) タウンミーティングを通して、市民と一定の議論を積み重ね、認識を共有してきたと私は思っていますので、しっかりまとめられます。

加西市役所の令和2年度の体制について



高見 博道 議員
(令和新風加西)

問 令和2年度の加西市の体制は、新たに3人の理事を配置した形でスタートしたが、3人の理事を配置した狙い、役割は。

答 現在加西市における特に重要な課題に対応するため、3名の理事を設置しました。

観光担当理事は加西市観光まちづくり協会の組織体制の強化、戦争遺産を初めとする歴史文化遺産やスポーツ振興と連携した新たな観光振興、また国内外を問わず多くの観光客の呼び込みによる経済

効果の創出に取り組むことを目的としています。

行革・病院改築担当理事は、新たな行財政改革プランの策定に当たり、現在策定中の第6次加西市総合計画など関連する計画や各部門、部署間の連携調整を図ります。また、加西病院の改築に関し、建設事業に係る情報を共有し、財政上の支援を検討し、そして公立病院に求められる行政機能の役割として、施政方針が適切に反映されるよう病院と市長部局が相互連携を図るための調整役を担っています。

開発調整担当理事は、現在整備中の加西インター周辺産業団地に関して、企業誘致を一層推進するため、兵庫県産業労働部やその外郭団体である公益法人ひょうご産業活性化センターとのパイプ役を担うとともに、県事業である国道372号線加西バイパスの早期実現

に向けて、県との調整を行っていくことを目的としています。

問 昨年、産業団地の開発に関して専門性の高い任期付職員の提案があったが、採用になっていない。理事があわせて担うことになるのか。

答 任期付職員を2度にわたり募集しましたが、非常に難しい役割であるため採用となりませんでした。そのため、しっかり対応できる方を県から招致したのが現状です。

■その他の質問項目

- ・小・中学校について
- ・こども園について
- ・加西インター産業団地について
- ・特別定額給付金給付事業について

新型コロナウイルス感染症対策の商工振興について



北川 克則 議員
(令和新風加西)

問 加西市小規模事業経営持続支援金の状況と今後の見通しについて。

答 6月4日現在の申請総数は139件、うち交付手続が完了したものは100件となります。製造業の申請件数が1番多く、続いてサービス業、小売業と続く状況です。県の当初の休業要請期間に合わせて、4月の売り上げだけで支援金の交付対象になるかどうかを判定していましたが、休業要

請期間が5月31日まで延長されたため要件を見直し、対象月を4月または5月としました。支援金の交付は1事業者につき1回としていますが、今後も新型コロナウイルス感染症による地域商業のダメージの影響が続いていく状況であれば、再度の募集も検討したいと考えます。

問 再度の募集とは、2回目の申請ができるということか。

答 6月以降も引き続いて売り上げの減少が続く場合は6月、7月等で、また20%以上50%未満の売り上げの減少が起きた事業所について、もう一度10万円の交付ができないか現在検討しています。

問 融資保証料負担の現在の進捗について。

答 当初見込んでいた5,000万円を上回る申し込みがあり、今回3,000万円の補正をしています。資金等の運用に活用していただいていると考えています。

意見 特にメーカー関連の下請けをしている事業者は、大手の休業による影響で6月も引き続いてダメージを受けているので、漏れのないよう支援の手を届けていただきたい。6月、7月の支援も期待します。

■その他の質問項目

- ・公共交通について
- ・加西市総合支援アプリについて

定住自立圏形成推進に基づく事業について



佐伯 欣子 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

問 定住自立圏形成の意味と目的について。

答 総務省が推進する定住自立圏構想に基づき、中心市の都市機能と近隣市町村の地域資源などそれぞれの魅力を活用して、定住のために必要な生活環境の確保、自立のために必要な地域の活性化を図り、圏域全体として魅力あふれる地域を形成していこうという考え方です。加西市と加東市が中心市、西脇市と多可町が近隣市町として圏域を形成し、3市1

町が連携して圏域の発展を目指している状況です。

問 コロナ禍の中で各部署で実際に取り組んでいる定住自立圏に基づく主な事業について。

答 主な取り組みとして図書館相互利用推進事業、文化スポーツ交流活動や施設の相互利用促進事業、地域観光情報発信、誘客活動事業があります。また、先般協定書を更新し、新たに権利擁護、成年後見事務共同実施事業と健康推進事業の2事業に取り組んでいます。健康推進事業は、加西市の運動ポイント事業に多可町が加わり、早速今年度から連携事業としてスタートしています。

問 加西・多可健幸ポイント事業について、多可町が加入して一緒にやることで事業の費用はどうか、また効果等につ

いて伺いたい。

答 加西健幸アプリを多可町が共同利用することにより、加西・多可健幸アプリとしてリニューアルし、6月1日から2市町でポイント事業を実施しています。事業費用のうちシステムの業務委託費は、アプリの保守費用とウェブ使用料を2市町で分担するため、加西市の委託費は昨年度より約30万円減少します。また、アプリのシステム改修費は全額多可町の負担です。効果としては、まず両市町間の交流の促進です。今後両市町で利用できる事業をふやすことで交流が進み、さらに観光なども活性化を図ることができるのではと期待しています。

要望 健幸ポイント事業を、多可町のみならずほかの市にもぜひ広げていただきたい。

新型コロナウイルス経済対策二次補正予算について



井上 芳弘 議員
(日本共産党)

問 国の第2次補正予算について、新たな給付、拡充される補償等の内容は。

答 事業者支援のための地代や家賃を補助する給付金の創設、雇用維持のための雇用調整助成金の拡充や学生支援、医療体制の充実等を聞いています。また、市で既に実施しているひとり親世帯への臨時特別給付金の支給、学校の感染症対策費などが計上されています。なお、臨時交付金は1次補正の総額1兆円から2兆円に

増額されているということです。

問 ひとり親家庭の子供に対する給付など、地方自治体と関連する案件についてどのように取り組むのか。条件が整えば補正予算で対応するのか。

答 市が実施した事業が国の施策の代替として認められ、国庫補助を受けられるよう働きかけることがまず大事だと考えますが、財政部局としては、基本的には国の予算が成立すれば、2度目でも実施したいと考えています。

問 臨時交付金の活用については、新たな施策に加えて、財源の組み替えも考えられるが、基本的な姿勢について伺いたい。

答 現時点では配分額がわかりませんが、市の独自事業の財源や、既に実施している市の独

自事業が国の事業の対応となってくるような場合、財政調整基金を使っている財源への補填など有効に活用したいと考えます。

問 現行の独自支援の拡充や新たな支援も考えられる。学校給食費の無償化、定額給付金が基準日の区切りにより支給されない子供に対する支援は非常に大事である。こういう新たな支援に対する市長の考えをお尋ねしたい。

答 (市長) 住民に一番身近な基礎自治体として、市民の暮らし向きにしっかり応える、特に今回の未曾有の危機に対して、しっかり応えることは大変重要だという基本的な姿勢を持っています。担当者が、今の意見を踏まえてやろうということであればしっかりやっていきたい。私自身は検討していかなければならない課題だと思っています。

加西市みんなで支え合う 新型コロナウイルス感染症対策基金について



丸岡 弘満 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 臨時議会では、公務員を擁護するわけではないが、国からの一人10万円の給付について、職員なら寄附するのが当たり前という考えは間違いであり、寄附をしなければならないという圧力を市民や職員に与えてはならないという趣旨を述べた。しかし、コロナ基金・寄附制度の設置や歳出事業が実施されない場合の影響を重んじて賛成をした。また、市長が全職員約600人に対し、職員は市民に率先して姿勢を示す必要

があるなどと寄附を求めていると後日報道で知った。職員は協力しようという気になっていると市長は説明されているが、寄附状況はどうなっているのか。

答 記者会見では、職員からの寄附の全体額を公表しました。しかし、報道等で大きく取り上げられたため、組合協議の中で、全体額であっても同調圧力となりかねないとして、一定公表を控えることにしています。

問 地方財政法第4条の5は割当的寄附金等を禁止している。元内閣官房副長官の石原信雄氏・二橋正弘氏による逐条解説では、本条は割り当てる行為自体を禁止し、強制的な徴収やこれに相当する行為を含めて禁止している。したがって、割り当てをして

も、強制的に徴収しなければよいと解してはならない。強制的な徴収とは権力関係や公権力を利用し、強圧的に寄附させるという意味で、応じない場合に不利益をもたらすことを暗示し、社会的心理的に圧力を加える場合を含むものとされている。本当に職員は納得して寄附をしているのか。新聞取材で職員が「市長からの要望は断りにくい」、「半ば強制的な寄附だ」と答えているがどうか。

答 寄附金6,000万円を目標としていますが、あくまでも任意で寄附を募っており、趣旨に賛同して寄附していただきたいと考えています。市長の発言については、基金の趣旨、市民生活への影響を見る中で職員へ呼びかけた経緯等を全体として見れば、パワハラではないと考えます。

SDGsの取り組みについて



下江 一将 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

問 SDGsは2030年までに誰ひとり取り残さないを理念に、持続可能な世界を実現するための17の目標、169のターゲット、232の指標で構成されている。協創のまちづくり条例にSDGsの理念を盛り込んでいるとのことだったが、加西市におけるSDGsの推進や取り組みに対する考えは。

答 市民の暮らしをよりよいものとし、加西市で暮らしたいと感じてもらえるような、持続可能なまちづくりの実現の手が

りとなる考え方と捉えています。第2期地域創生戦略、第6次総合計画における加西市が目指すまちづくりの基本方針にSDGsの理念を組み込み、持続可能なまちの実現に向けた取り組みを進めていこうと考えています。

問 今後、SDGsをどのように啓発周知していくのか。

答 加西市では先進的にSDGsに取り組むリコージャパンと包括連携協定を締結していることから、職員にSDGsの概念、理念に関する研修を実施したいと考えています。また、広報やホームページによる発信とさまざまな機会での周知に努め、市民の意識の醸成につなげたいと考えます。

問 今後、自治体や企業がSDGsを意識するようになった場合、学生が持続可能な社会につい

て学ぶ、また考える機会がふえると予想され、現に活動している高校もある。小中学校では持続可能な社会に向けて、SDGsを学ぶ機会は既にあるのか。

答 小学校6年生の社会科の教科書には、「世界の未来と日本の役割」と題して国際連合や持続可能な社会、SDGs等が具体的に記述されています。中学校は現行の教科書には同様の記述はありませんが、来年度教科書の改訂が行われる際には、新たに取り入れられることが考えられます。

■その他の質問項目

- ・ 新型コロナウイルスの対策について
- ・ オンライン化による産業の活性化について
- ・ 地域おこし協力隊制度について

市議会トピックス

■ 閉会中の委員会開催日程

月 日	時間	会 議
8月3日(月)	10:00	総務常任委員会

■ 閉会中の委員会活動

建設経済厚生常任委員会

●懇談会を実施します

8月5日(水) 加西市社会福祉協議会

テーマ：加西市社会福祉協議会の現状と課題について

■ 令和2年9月 加西市議会定例会の予定

月 日	時間	会 議
9月1日(火)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (提案説明等)
9月3日(木)	15:00	発言通告期限 (質疑・一般質問)
9月9日(水)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (質疑・一般質問)
9月10日(木)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (一般質問)
	本会終了後	予算決算常任委員会 (全体会)
9月11日(金)	10:00	本会議 (予備日)
9月14日(月)	9:00	総務常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会総務分科会
9月15日(火)	9:00	建設経済厚生常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
9月16日(水)	9:00	建設経済厚生常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
9月23日(水)	9:00	予算決算常任委員会 (全体会)
9月25日(金)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (委員長報告・討論・採決)

■ 請願・陳情について

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。

9月定例会での取り扱いを希望される場合は、令和2年8月24日(月)17時までにご提出ください。

加西市議会ホームページのご案内

議会の日程や議案の審議結果などを掲載しています。

また、これまでに発行された議会だよりや本会議、委員会の映像、会議録も見ることができます。

ぜひ、ご活用ください。

スマートフォンでご覧いただく場合は、下記QRコードをご利用ください。

ぜひ傍聴にお越しください!



議会中継
(ライブ・録画)は
加西市議会HPへ



発行 加西市議会
編集 議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾 1000
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810
[email] gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委員長 森田博美
委員 井上芳弘
委員 深田真史

副委員長 北川克則
委員 下江一将
委員 森元清蔵